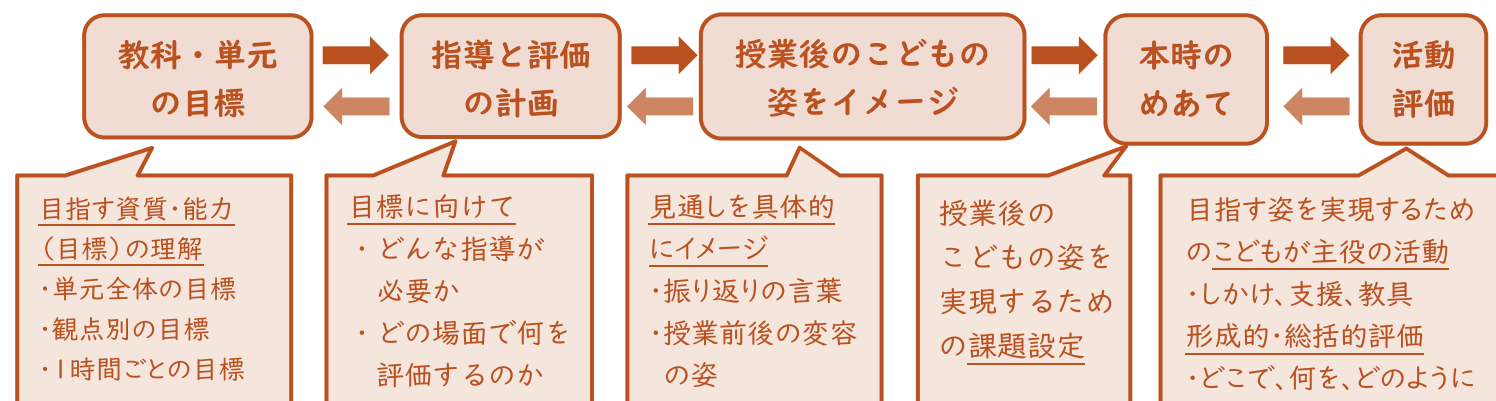


令和8年度 授業スタンダード表

評 価 項 目	
こ ど も の 姿	主体的・対話的で深い学びとなるために
	ゴールへの見通しをもち、粘り強く、丁寧に、試行錯誤しながら活動に取り組んでいる。
	学び方や課題など、自己選択・自己決定できる場面がある。
	対話や協働を通して、新たな気づきや思考の深まりが生まれている。
	わかったこと、できたことを自分の言葉や表現方法で伝えたり、活動を振り返る中で自分の変容した姿を実感したりしている。
	間違いや一人一人の意見を認め合う学級の雰囲気（安心感・自己存在感）がある。
	★
教 師 の 姿	個性を引き出し学びを楽しむ、確かな学力が身につく授業になるように
	単元を通して付けたい資質・能力、授業のめあてや目指す姿を明確にし、主体的に学びに向かう課題や活動を提示している。
	個別・対話・協働・ICT活用など自分に合った学習方法をこどもが自己選択・自己決定する機会を設けている。
	授業や単元で目指す資質・能力の育成のため、つぶやきを拾ったり、問い返したり、意見を関係づけたりして、こどもの思考を大切にしている。
	基準を明確にして一人一人を見取って評価し、その評価をこどもへの指導・支援、自身の授業の振り返りに生かしながら授業づくりをしている。
	これまでの経験や既習事項、他教科や特別活動、学校行事、実社会を横断的につなぐ学びを意識して授業をデザインしている。
	★

<授業づくりの思考過程（基本形）>



※上記のプロセスに一貫性があるかを確認することが大切

令和8年度

大野っ子 Well-being 育成プラン

大野市教育理念

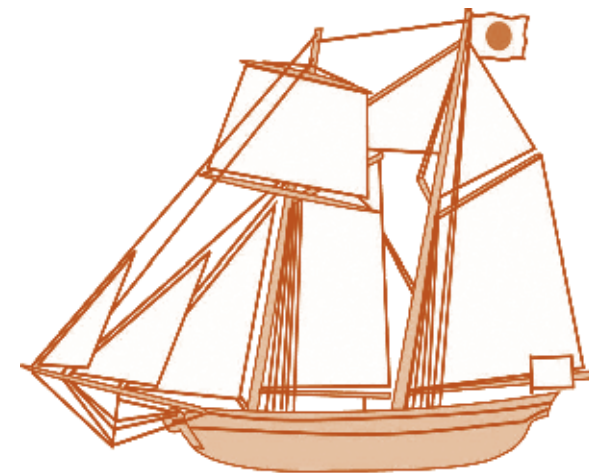
明倫の心を重んじ 育てよう 大野人

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、

いつの時代においても 変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、

学び、育てることに努めていきます。



幕末の大野藩主、土井利忠公は藩の財政を再建するために人材育成を重視しました。

人として守り、行うべき道を明らかにするという意味をもつ「明倫館」を設立。当時、武士の子に限らず誰でも学ぶことができる場はめずらしく、ここで育った人が、後に藩の商業や鉱業などを盛んにしました。



大野市の目指す教育

◆教育理念の具現化

◆18年間をつないで育てる大野人

◆大野らしさが生きる教育

大野っ子育成プランでは、大野人を18年をつないで育てるという観点から、また令和5年4月1日施行のこども基本法の考え方から、乳児・幼児・児童・生徒など大野で育つ心身の発達の過程にある者を「こども」と表記しています。

【居場所づくりと絆づくり】

- 園・学校が楽しいと思えるこどもに**
こどもが自己存在感や充実感を感じられる「居場所」を提供するとともに、ポジティブ教育の取り組みやこどもの主体性を育む教育活動全般を通して、仲間と「絆」を感じ取り、紡いでいける場と機会を設定します。

【こども視点での組織的支援】

- 未然防止・初期対応・継続的支援**
多様な方法でこどもの声に耳を傾けながら、こどもの視点に立った取り組みの充実を図り、いじめや虐待、不登校などの課題行動に迅速かつ丁寧に組織で対応します。
- 園・学校・家庭・他機関連携**
家庭や他機関とつながりながら「チーム」としてすべてのこどもを支えます。
- 誰一人取り残されない支援**
こどもの心に寄り添い、切れ目ない移行支援を行います。また、一人一人のニーズに合わせ、結の故郷教育支援員・相談員、校内サポートルーム支援員、専門家等と連携して、チームでよりよい支援を行い、学びの機会や場を確保します。

「ウェルビーイングな園・学校」の実現に向けて

安心して通える
園・学校づくり

一人一人が自分らしく
活躍し尊重しあう
関係を

自ら学ぶ力を育む
園・学校づくり

問いを見だし
自ら学び課題を
解決する力を

「ウェルビーイングな園・学校づくり」の取り組み全般を通して、こどもの自発的・主体的発達を支え、生徒指導上の課題の未然防止を推進します。

【幼・小・中・高の連携】

- こどもの学びをつなぐ**
こどもが愛し、愛される環境の中で成長し、他者を認め、思いやりの気持ちをもつことができる人間形成の土台を育みます。
こどもが自分らしさを大切に、自己発揮しながらチャレンジできる環境をつくれます。
結・協議会や共同研究部会、参観交流、夢へのパスポートなどの活用を通して、こどもを支援する大人が互いの願いや課題を共有し、学びをつないで育てます。

【学びのアップデート】

- 個性を引き出し、学びを楽しむ教育**
個別・対話・協働・ICT活用など自分に合った学習方法をこどもが自己選択・自己決定する力を育成します。また、特性・理解度・関心・学習ペースなど、一人一人の違いを生かした学びをデザインし、個別最適な学びと対話的・協働的な学びの一体的な充実を目指します。
対話の質を上げ、学びを深めるための基礎的・基本的な知識及び技能を育成し、一人一人の自信や意欲の向上につなげます。また、こどもを丁寧に見取り、評価・振り返り・改善を繰り返しながら目指す資質・能力を身につけます。
- 探究的な学び**
こどもが学びのつながりを生かし、疑問や探究心から問いを見だし、試行錯誤しながら課題解決する力を育てます。

【ふるさと大野探究の学び】

- 多様な体験、人々との協働を**
ふくいSDGsパートナー、おおのSDGsパートナーの一員として、大野に学び大野から発信する活動により、ふるさとに誇りと愛着をもつこどもを育てます。
地域の人々や企業、行政と協働する地域課題解決型の体験活動・探究活動を通して、自分の将来や生き方を考える「ライフデザイン教育」を推進します。

教員の資質向上・学校改修・地域の支援でこどもを支えます

授業改革のための指導力アップ支援

- 共同研究による組織力支援
学校訪問の事前参加、学力向上研修会の開催
- 教員一人一人の支援・学び合いネットワークの構築
「学ビバ」の開催、研究会案内
自主研究サークルの支援
- 福井大学の支援・連携
校内研究アドバイザーの訪問、教職大学院への教員派遣補助
福井大学教職大学院との連携協定

教育環境の整備(改修・校区の見直し)

- 安心・安全な学校施設（長寿命化改修など）
有終南小、富田小
- 学校体育館の長寿命化改修と空調設備の整備
開成中、陽明中
- 教育環境の充実：学びが広がる教室、多様なニーズ
ホワイトボード、教室と廊下の一体化、個の居場所
- 施設の脱炭素化：省エネルギー設備
LED照明、ペアガラス
- ICT環境の整備 小・中学校タブレット端末の入れ替え

地域と共にこどもを育てる

- プール開放の継続
小学校の夏季休業中におけるプール開放をB＆Gで実施
- 中学生の休日・放課後活動地域展開
- こどもの居場所づくり：学びと遊びと体験の広場
長期休業中の放課後子ども教室連携事業の実施
放課後子ども教室・児童クラブの学校内設置の検討と準備